

たんばぬの 丹波布から考える SDGs

講演会 & 丹波布にふれる(ワークショップ)

国の無形文化財であり兵庫県伝統的工芸品の丹波布に実際にふれてみませんか？

「SDGs」というと少し難しい感じがしますが、伝統工芸は地域にあった資源を必要なだけ活用し、それを元に技術や製法を継承しているあり方や、多くの行程を手作業で行い、電気等のエネルギーを使用しないなど、もともと SDGs の掲げる目標と深いつながりがあります。ワークショップをしながら、学んでみませんか？

SDGs とは、Sustainable Development Goals (サステイナブル ディベロップメント ゴールズ) の略称で、日本語訳は「持続可能な開発目標」です。2015 年 9 月に国連サミットで国際目標として採択されました。17 のゴール・169 のターゲットから構成され、先進国も途上国も誰ひとり取り残さないをキーワードに、2030 年までに持続可能な社会を目指しています。



日時：11 月 26 日 (土)

13:00~15:00 (12:30 受付開始)

場所：関西国際大学 三木キャンパス

三木市志染町青山 1 丁目 18 番

費用：1,000 円

定員：20 名

(先着順)



■ 内容

13:00~13:30 兵庫県伝統的工芸品、丹波布について学ぶ

13:30~15:00 丹波布にふれる(ワークショップ)

★ワークショップでは、織物の端材を使用し、クルミボタンとコースターもしくはリボンのヘアゴムを作成します。(道具類はこちらでご用意いたします)

■ 申込方法

(※下記のいずれかより 11 月 24 日 (木) までにお申し込みください)

- Web: 右の QR コードより入力
- FAX: 裏面の FAX 申し込み用紙に記入の上、送信してください。
- インターネット環境、FAX をお持ちでないかたは、電話でも承ります。

下記内容をお伝えください。(☎平日: 月~金/9:30~17:00)

①講座名 ②氏名(ふりがな) ③住所 ④電話番号 ⑤FAX 番号



丹波布作家 イラズムス千尋さん

兵庫県生まれ。岡山在住時にウールの糸紡ぎと染織に出会い、布作りの楽しさに目覚める。丹波市に移住後、丹波布の存在を知り、かねてから興味があった木綿をやってみたく、丹波布伝承館にて学ぶ。丹波布伝承館講師を務めた後、自宅工房にて手で紡ぎ、草木で染めて織り上げる布にこだわり、日々制作に励む。イヌ 1 匹、ヒト 3 人と共に春日町に在住。

サービスラーニング「三木市・丹波市をフィールドとした地域活性化プロジェクト」

丹波市とは 2014 年に豪雨災害被害の復興支援ボランティアをきっかけに、2019 年 3 月に全学的包括連携協定を締結しました。今年度も学生たちは、現地を訪れ、地域の特色を知り、特産品や作り手の想いに触れ、「地域活性化プロジェクト」として、新しい体験、気づきを実感しています。この体験のもと、一般の皆さまへ「丹波布」を知っていただきたく、様々な活動を行っています。

サービスラーニングとは…地域社会にある生活課題や社会問題を解決する過程に参画し、多様な社会的・文化的背景をもつ人々との協働を通して学んでいる学問体系や自らの価値観・市民性を育む学習方法です。ふりかえりの機会を通して体験で得られた知識や技術・新たな価値観を深め、次の学習へと発展させていきます。



FAX

関西国際大学
社会連携課宛

公開講座FAX申込書

(丹波布から考えるSDGs)

FAX : 0794-84-3562

参加者	ふりがな		年齢	歳
	氏名		所属	
	〒			
	住所			
	TEL	()	—	
	FAX	()	—	
	メールアドレス			
特記事項がありましたらご記入ください。				

〈個人情報の取扱いについて〉

◎個人情報保護の重要性を認識し、適切に利用し、保護することが社会的責任であると考え、個人情報の保護に努めることをお約束します。

◎お申込みいただきました個人情報は、本公開講座運営ならびに本学の公開講座等イベントのご案内以外の目的で使用いたしません。

*申込締切日 **11月24日(木)**までに送信してください

会場までのアクセス

関西国際大学 三木キャンパス

〒673-0521 三木市志染町青山 1 丁目 18 番

TEL:0794-85-2288 (代表)

◎神戸電鉄「緑が丘駅」より

・神姫ゾーンバス

「緑が丘東 3 丁目」下車

東へ徒歩 10 分

お車でお越しの方へ

大学構内の来客用駐車場を
ご利用ください。

*申込後にキャンセルされる場合はすみやかにご連絡ください。

*自然災害等やむを得ない理由により、開催中止となることもございますので、あらかじめご了承ください。その場合、できる限り早急に連絡させていただきます。

※事務局使用欄